opusdei.org

福者ホセマリアによ る奇跡の承認

12月20日、教皇は両手に重大 な疾患を負ったスペイン人医 師の奇跡的な治癒を 奇跡と認 める旨の教令を承認。同教令 では、ピオ神父、福者ホア ン・ディエゴ の取り次ぎによ る奇跡も承認されている。

2004/01/21

12月20日、教皇は両手に重大な疾患 を負ったスペイン人医師の奇跡的な 治癒を奇跡と認める旨の教令を承 認。同教令では、ピオ神父、福者ホアン・ディエゴの取り次ぎによる奇跡も承認されている。

ヨハネ・パウロ二世教皇は、20日、 福者ホセマリアの取り次ぎによる奇跡についての教令を承認した。同様についての教令を承認した。レレー・マヌエル・京の職業病では、マヌエルを重度の職業病では、1992年11 所が患っていた重度の事業を取りないる。ピオーの取り扱っている。ピオーの取り扱っている。ピオーの取り扱っている。ピオーの取り扱っている。ピオーの取り扱っている。ピオーの取り扱っている。といるの教令も同時に読み上げられる。

放射性皮膚炎

放射性皮膚炎とは、エックス線機器 を長時間にわたって使用し、手を放 射線に曝す医師などによく見られる 疾患。進行性で、長年の後には皮膚 ガンへと進行する。治療法は無く、 唯一できることは、外科的な処置だ けである(両手患部の切除、皮膚の 移植)。実際のところ、医学文献に よると、今日でも癌化した慢性放射 性皮膚炎が自然治癒に至ったケース は一件も報告されていない。

治癒

マヌエル・ネバド・レイ医師は、1 932年、スペイン生まれ。外傷 門の外科医で15年以上にわたっ て、両手にX線を浴びながら整骨の でに従事していた。放射性皮膚炎の 兆候は、1962年に始まり、に がの一途を辿る。1984年頃には の一途を辿る。1984年頃には の一の疾患のせいで簡単な外科処置 のみに仕事も限られ、1992年の 夏頃には完全に仕事を辞めざる を受けてはいなかった。

1992年の9月、ネバド医師は、 スペインの公的機関に勤めるルイ ス・エウヘニオ・ベルナルド(農業 技師)と知り合う。彼は、ネバド医 師の病気について知ると、その年の 5月17日に列福されたオプス・ディ創立者の祈りのカードを渡し、放 射性皮膚炎の治癒を祈り求めてはど うかと勧めた。

福者ホセマリアの取り次ぎ

その時からネバド医師は、福者ホセ マリアに取り次ぎを求め始めた。ル イス・エウヘニオ・ベルナルドと知 り合って数日後、学会に出席するた め、妻を連れ立ってウイーンを訪れ た。訪問した多くの教会に福者ホセ マリアの祈りのカードがあるのを見 て驚き、「祈りに一層拍車がかかっ た と氏は話している。福者ホセマ リアに治癒を祈り始めてから、両手 は快方に向かい、15日後には疾患 は完全に消失した。治癒は完全で、 1993年1月には何の問題もなく 外科手術の執刀を再開している。

列聖への手続き

ネバド医師の住むバダホス大司教区 では、この治癒に関する調査が19 94年に終了。1997年7月10 日には列聖省の医学顧問会は次の結 論を下した。「癌化した第三度の慢 性放射性皮膚炎で自然に治癒するこ とはない」。よって、当医学顧問会 は、「予後は悲観的であり」、19 92年、1994年、1997年に 実施された客観的な検査に裏付けら れる完全な治癒は、「短期間で完 全、再発することなく、科学的には 説明不可能である」との結論を下 す。

1998年1月9日、列聖省の神学顧問会は、この奇跡が福者ホセマリアの取り次ぎによるものであるとの答申を全会一致で採択。枢機卿・司教通常会議は、この答申を2001年9月21日付けで承認した。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/fu-zhe-hosemarianiyoruqi-ji-nocheng-ren/(2025/11/29)